

いかに活かすか再チャレンジ!

— 社会人大学院生に求められるもの —

生涯学習への関心が高まり、社会人が大学や大学院に入学する傾向が高くなっています。奈良女子大学においても多くの社会人大学院生が学んでいます。輝く女性を目指し、高度で専門的な学びを得、優れた研究を行い、さらに社会で活躍するためにいかに学生生活を送るかとともに考えてみませんか？

40歳で修士課程に入学し、後に博士課程を修了、博士号を取得され、研究者となられた国広先生から社会人大学院生として、経験されたことなどを語っていただきます。



プロフィール

1970年

慶応義塾大学経済学部卒業

日本放送協会(NHK)に就職。ディレクターとして、数々のテレビ・ラジオの番組制作に携わる。

30歳で退職し、子育てに取り組みながら、フリーランスの仕事を経験。

40歳で横浜市立大学大学院経済学研究科修士課程に入学。

1997年に慶応義塾大学社会学研究科後期博士課程修了、学位(社会学)取得。

1998年より武蔵大学で教鞭を執る。

日 時：平成19年12月21日(金) 13時30分～15時30分

講 師：武蔵大学 社会学部 教授 国広陽子先生

テーマ：いかに活かすか再チャレンジ!—社会人大学院生に求められるもの—

場 所：生活環境学部 会議室 (A棟2階)

奈良女子大学大学院 人間文化研究科「魅力ある大学院教育」イニシアティブ

「生活環境の課題発見・解決型女性研究者養成」支援プロジェクト

平成19年度 大学院生の自主企画による研究セミナー

問合せ先：奈良女子大学大学院 人間文化研究科 中山徹研究室

室谷雅美 (masami_pinocchio@ybb.ne.jp)